

質問 新型コロナ感染症指定病院満床時の対応は

病院事務長

県の要請で奥出雲病院で対応



大垣 照子 議員

質問 感染拡大が続く新型コロナウイルス感染症は、都市圏では医療・病床数の逼迫がひどくなっています。自宅待機者の中には、急激な病状悪化により命を失つた人が出ている。本町においてこのような事態が発生すれば、治療や救済等、災害発生時相当の対応が必要だ。考えを問う。

町長 島根県においても2桁の感染者が発生し、デルタ株への置き換えで、さらなる感染拡大が懸念されている。県のみの対応は困難になつてきおり、県や市町村、医療機関等が対応することになつた。非常事態を認識し、自宅療養の感染者や自宅待機者の濃厚接触者の生活支援対策等、準備を行つていて。

質問 在宅勤務による災害発生が想定される医療機関が、満杯になった時の治療体制について問う。



狭あいな町道を襲う樹木

質問 病状悪化や急変時は、医療機関へ緊急搬送が行われる。また希望者には生活に必要な物品を、自宅療養セットとして県から配布される。

質問 在宅勤務による災害発生が想定される医療機関が、満杯になった時の治療体制について問う。



狭あいな町道を襲う樹木

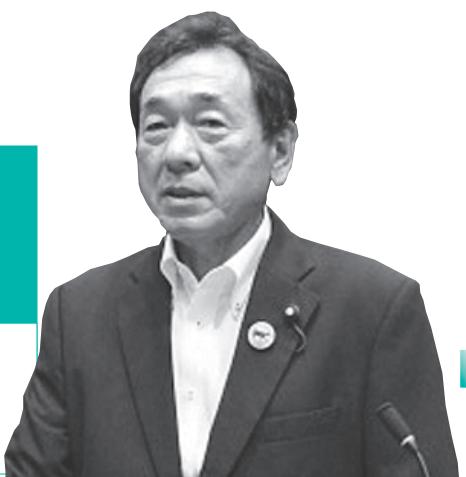
質問 デジタル化により毎年、システム更新のための外部委託料も相当額になつていて。専門的知識を持つ全職員の採用を。

質問 デジタル人材の採用について

町長 デジタル人材の計画的な採用を検討したい。専門的知識を有する職員もあり、引き続き必要な技能が習得できる研修をさせる。

質問 サテライトオフィス等を整備して企業誘致を

町長 「古民家オフィスみらいと」での受入れが可能



北村 千寿 議員

質問 町ではどんな特色をもつて誘致しているのか。

質問 サテライトオフィス等を整備する考え方はあるか。また、廃校を利用した施設整備も有効ではないか。

町長 大きな設備投資を伴わない既存の空き施設、古民家を活用したオフィスを整備。

質問 サテライトオフィスやコワーキング施設等で、大容量情報処理が必要となれば対応していく。



町長 障がい福祉サービスなどの質の向上、相談支援体制の充実、強化などを基に本指針としている。

質問 「たたらの体験学習施設」を一般の方を対象にたたら製鉄の学びの場や地域活性化につながる。世界農業遺産はどうか。

町長 奥出雲町のたら製鉄の学びの場として体験研修の場として年数回程度利用してはどうか。

意見 最初は町で施設、その後は受け入れ団体を地元でつくるべきと考える。



質問 第6期奥出雲町障がい福祉計画、第2期奥出雲町障がい児福祉計画についての町の考え方。

質問 他の地域で行われているサービスが本町でも同じように行われるべきと考えるがどうか。

質問 他の地域で行なわれる同様のサービスが利用できるよう協議する。

障がい福祉に対する町の取り組みについて

質問 企業誘致に関する町の考え方。

質問 第6期奥出雲町障がい福祉計画、第2期奥出雲町障がい児福祉計画についての町の考え方。

質問 他の地域で行なわれる同様のサービスが本町でも同じように行われるべきと考えるがどうか。

質問 他の地域で行なわれる同様のサービスが利用できるよう協議する。